

～小石川台地を歩く～

目白から江戸川橋へ

期 間：2016年9月14日（水曜）日帰り 解散4時
ごろ

参加費：1,000円

自己負担：交通費（現地往復）、昼食代、入場料など
昼食は、日本女子大校内食堂にて

集 合：JR 目白駅改札出口 11時

注意事項：小雨決行

歩きやすい格好でご参加ください

懇親会：解散後有志のみで予定（江戸川橋近辺）

募集人数：20名

リーダー/申込先：村上有三

Fax：03-3821-1449

メール：yuzomkm1717@tcn-catv.ne.jp

住所：〒113-0031

東京都文京区根津1-26-8

申し込み日：7月1日より

ルート 目白駅 → 学習院 → 日本女子大 →
目白台運動場 → 江戸川公園 → 椿山荘 →
芭蕉庵 → 永青文庫 → カテドラル教会 →
鳩山会館 → 江戸川橋

学習院大学

江戸時代後期の1847年に京都御所で開講された学習所を起源とし、明治時代初期、1877年に皇族・華族のための教育機関として改めて開校された。新制大学としての学習院大学の開校は第二次世界大戦後の1949年。皇族が通う大学として日本国内ではよく知られている。

日本女子大

日本で初めての組織的な女子高等教育機関として誕生。女性に教育は有害無益であると考えられていた当時、創設者成瀬仁蔵は著書『女子教育』によって必要性を力説。

創立にあたっては、東京専門学校（現・早稲田大学）の創立者大隈重信が創立委員長となり、総理大臣伊藤博文、学習院院長近衛篤磨、文部大臣西園寺公望、財界人渋沢栄一、岩崎弥之助等各界の重鎮の多大な支援を受け、広岡浅子の働きかけで三井財閥から東京・目白の地（現在地）を寄贈され開校。

開校時は、家政学部、国文学部、英文学部の三つの学部と、附属高等女学校が設置された。



日本女子大 成瀬記念館

椿山荘

明治の元勳である山縣有朋は、西南戦争の功により年金740円を与えられ、1878年（明治11年）に購入、自分の屋敷として「椿山荘」と命名した。山縣は椿山荘において庭作りに傾注した。

東京カテドラル教会

カトリック関口教会は、東京都文京区関口にあるキリスト教（カトリック）の教会。カトリック東京大司教区の司教座聖堂（カテドラル）であり、教会堂名（聖堂名）が「無原罪の聖母」（聖母マリア）であることから、東京カテドラル聖マリア大聖堂として知られている。丹下健三氏が東京オリンピックの年に建造した。



鳩山会館



鳩山会館は、内閣総理大臣を務めた鳩山一郎の邸宅を記念館として一般に公開したものである。東京都文京区音羽にあることから音羽御殿の通称で知られ、戦後政治史の舞台の一つに数えられている。